

「思考のすべ」の育成から、これからの社会で必要な資質・能力の育成へ

当校では、思考を中核として、授業を構想しています。これまでの研究の成果として、生徒が学んだことを価値付けるまでの学習過程において、生徒一人一人が有用だと感じる思考操作はより柔軟で多様であることや、思考操作だけでなく、その生徒固有の思考のとらえ方があることがわかりました。昨年度、教科・領域等の課題解決過程において生徒が有用だと考えた思考を振り返らせ、一人一人の思考を俯瞰し、再構成できるようにしました。

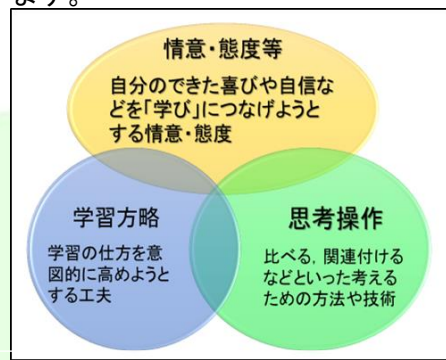
生徒が有用だと考える思考を分析すると、考えるための方法や技術である思考操作にとどまらず、学習の仕方を意図的に高めようとする工夫である学習方略、新たな気づきやできた喜びなどを「学び」につなげようとする情意・態度面に関するものが明らかになってきました。思考を中核として、生徒は自らの「学び」を価値付け、「学ぶ喜び」を実感・納得し、これからの将来に生きて働く知識、技能、能力等を見いだすのです。つまり、生徒が価値付けた思考操作、学習方略、情意・態度等は、教科・領域を横断して汎用的なものになる可能性が見えてきました。

	生徒の具体的な記述
学習方略	「図式化する」「公式や規則を見つける」「時系列にまとめる」「記号、符号などを使う」「問いをつくる」「見通しを持つ」「見直す」「共有する」「項目ごとに色分けしてノートや教科書に書き込む」「マッピングする」など
思考操作	「比べる」「関係付ける」「分類する」「仮定する」「一般化する」「類推する」「想像する」「予測する」「推測する」「視点転換」「多視点」「客観視」「条件変更」「観点、基準を基に考える」「全体から細部を見る」など
情意・態度等	「成功した経験を生かす」「失敗から学ぶ」「仲間から学ぶ」「相手の立場に立って気持ちを考える」「協調性を意識する」「話し合い等で楽しもうとする」など

本研究では、「学ぶ喜び」を実感・納得する中で、生徒が自分にとって意味あるものと価値付けた個々の思考操作、学習方略、情意・態度等を「思考のすべ」と定義しています。

＜思考のすべ＞
「学ぶ喜び」を実感・納得する中で、生徒が自分にとって意味あるものと価値付けた個々の思考操作、学習方略、情意・態度等。

- ※ 思考操作—比べる、関連付けるなどといった考えるための方法や技術
- ※ 学習方略—学習の仕方を意図的に高めようとする工夫
- ※ 情意・態度等—新たな気づきやできた喜びなどを「学び」につなげようとする情意・態度面に関するもの



今年度の研究の方向として、教科・領域で生徒が見いだす「思考のすべ」、そして、教科・領域横断的に見いだす「思考のすべ」を明らかにしていきます。さらに、生徒が教科・領域横断的な「思考のすべ」を自分の生き方に関係付け、価値あるものとして実感していくか見直していきます。

授業において、課題を解決できたという成就感だけでなく、その過程が自分にとって、どういう意味があったのか価値付ける「学ぶ喜び」を、生徒が実感・納得することを繰り返し経験することで、副次的に思考がどのように質的に変容していくのかに焦点を当てます。そのために、重点的に取り組む内容は下記の通りです。

- ① 思考の広がり深まりの中で、「学ぶ喜び」を実感・納得していく授業の構想
→ 生徒の思考を活発にする手だてとして、3つの重点を設定し、生徒の「学ぶ喜び」の実感・納得をより促し、教科・領域における「思考のすべ」の育成を図ります。
- ② 総合的な学習の時間—「生き方・学び方」の時間の新設
→ カリキュラム・マネジメントの視点から、教科・領域で見いだした「思考のすべ」を俯瞰・整理し、教科・領域横断的な「思考のすべ」の育成を図ります。

教科・領域の授業だけでなく、学校の教育活動全体を通して、これからの社会で必要な資質・能力につながる生徒の「思考のすべ」の質的な変容を促すために、総合的な学習の時間に「生き方・学び方」の時間を設定します。パーソナルポートフォリオを作成することを通して、生徒が教科・領域での1つ1つの「学び」を紡ぎ、教科横断的な「思考のすべ」を、自分の生き方に関係付け、これからの社会で必要な資質・能力として実感促す時間とします。

パーソナルポートフォリオとは、生徒のこれまでの「学び」の履歴を、自らの成長として紡いだものです。教科・領域にとどまらず、自分の成長に関するものをパーソナルポートフォリオに入れ込みます。生徒は蓄積された「学び」を振り返ったときに、教科・領域横断的な「思考のすべ」が自分の成長に関係しており、自分のこれからの生き方に意味あるものとして実感します。パーソナルポートフォリオを用いることで、教科・領域横断的な「思考のすべ」と生き方とをよりよく関係付けるようになるのです。

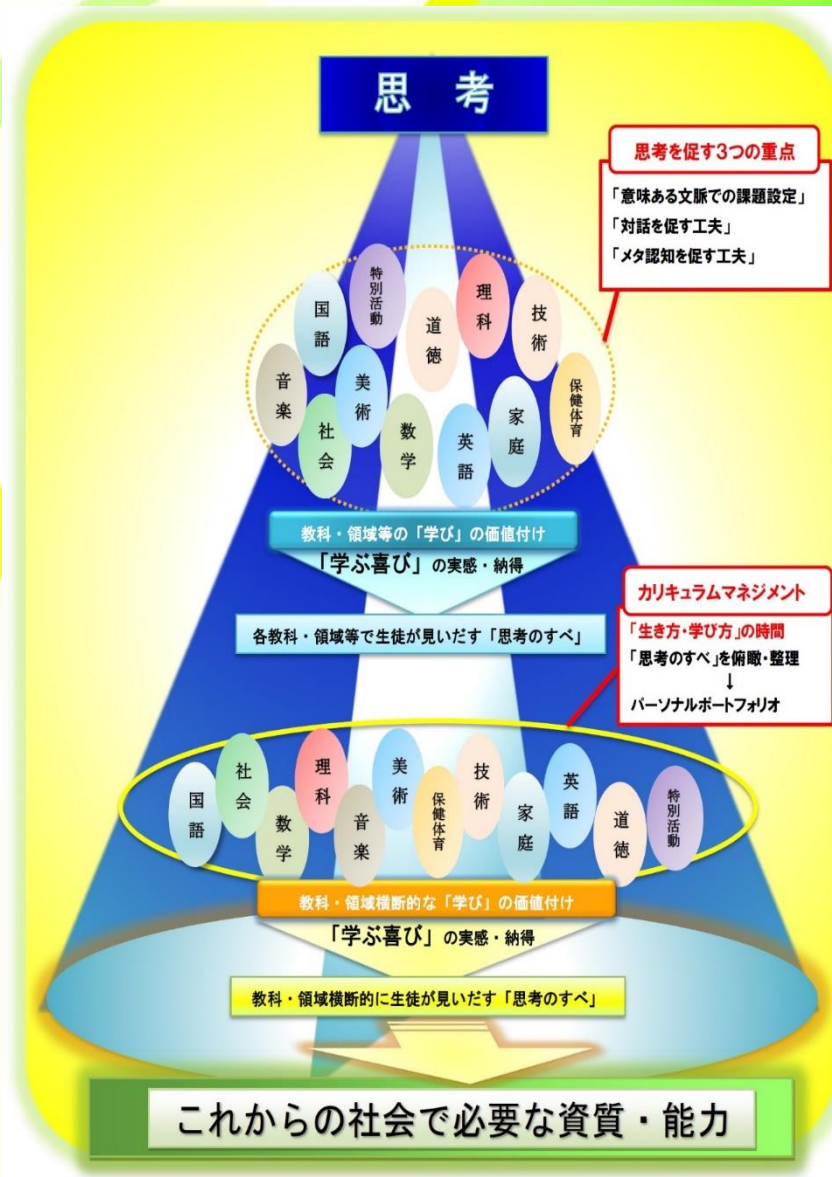
教科・領域横断的な視点からパーソナルポートフォリオを作成し、生徒の「思考のすべ」を基に、当校が目指す資質・能力を教育課程に明確に位置付けます。教科・領域の学習内容を関係付け、必要な内容を組織的に配列し、教育課程全体と教科等の内容を往還させ、「思考のすべ」の育成から、これからの社会で必要な資質・能力の育成を目指します。

パーソナルポートフォリオに入れ込む成果物		
全校に該当するもの	学年に該当するもの	個人に該当するもの
<ul style="list-style-type: none"> 教科ファイル (ノート、ファイル、ポートフォリオ、1枚ポートフォリオの形式) 学活ファイル 道徳ファイル 総合的な学習の時間ファイル すべファイル MTファイル クリアポケットファイル 生活ノート 振り返りノート 	<ul style="list-style-type: none"> 入学の決意 「ときわ体育祭」文集 「演劇発表会」文集 「東京班別研修」冊子 「旅」冊子 「卒業学習」冊子 	<ul style="list-style-type: none"> 各行事実行委員ファイル 生徒会役員ファイル 部活動における作品や賞状など 個人の趣味における作品やコレクション

＜パーソナルポートフォリオ＞



【「生き方・学び方」の時間の構想イメージ】



【教科・領域における「思考のすべ」の育成から教科・領域横断的な「思考のすべ」の育成に向けたカリキュラム・マネジメントのイメージ】

ご不明な点は、下記までお問合せください。
担当 研究主任 上村 慎吾
Tel 025-223-8341
E-mail kamimura@fuchu.ngt.niigata-u.ac.jp